

**研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム**  
**産学共同(本格型) 事後評価結果**

体系的課題番号	: JPMJTR202F
採 択 年 度	: 令和2年度
分 野	: 第2分野
研究開発課題名	: 小型レーザーモジュールによるタッチパネル用次世代センサフィルム製造装置の開発
プロジェクトリーダー 所属機関	: 株式会社レーザーシステム
研究責任者	: 小野 篤史(静岡大学)

### 評価結果の総合所見

本課題はレーザー光還元法による金属細線描画技術の実用化に向けて描画装置と微細配線形成の技術開発を行うものである。

当初の目標は達成しているが、実用化に向けては課題が残った。今後の取り組み次第ではイノベーション創出の可能性がある。

当初目標の描画速度での細線導電パターン形成は達成し、タッチパネルなどを製作するに適した直接描画を実現する装置開発ができた点は評価できる。一方、本技術を適用する製品とその応用に必要な細線描画の要求仕様が終了時点では不明瞭である。イノベーション創出のために、さらなる高速描画を進めるとともに、細線化やマスクレスの特長を活かせるニーズの発掘と事業化を継続して推進していくことを期待する。

以上